

今後のイベントスケジュール

親子ふれあい会 ※詳しくは2020年夏号に同封するチラシをご覧ください。 **講演会&サイエンスショー**

- 9/27(日) 猪苗代町(親子の運動あそび)
…国立磐梯青少年交流の家
- 11/ 8(日) 白河市(ミニ土器・ミニはにわをつくろう!)
…福島県文化財センター白河館(まほろん)

● 9/6(日)
とうほう・みんなの文化センター
(福島県文化センター)
★ みなさんで楽しめる企画をたがいま準備中です。

どなたでも
参加
できます!

お知らせ

学年質問票のお知らせ

学年質問票は下記のスケジュールで**ブルーの封筒**でお届けします。

(発送スケジュール)

- ・小学1年生 ……9~10月頃
- ・小学2年生 ……11~12月頃
- ・小学3年生 ……7~8月頃



身体測定記録は、必須項目となります。
学校から身体測定記録を持ち帰った際は、メモや写真を撮るなどして記録を残しておいてください。

☆お誕生日の質問票は、
今まで通り**ピンクの封筒**でお届けします。

令和2年度 学童期検査のお知らせ

対象者:平成24(2012)年度生まれのお子さん
検査期間:5月から11月の期間に県内各地域に設置する会場で実施する予定です。

☆検査に関する詳しいご案内は、5月中旬にお届け予定です。
ご協力よろしくお願ひします。

詳細調査にご協力いただいているみなさまへ

2020年も6歳の医学的検査を実施中です

6歳の医学的検査は協力医療機関や協力曜日が増えています。
詳しくはお誕生日2か月前に送付している案内またはホームページでご確認ください。

住所変更の手続きは、「エコチル☆ふくしま」ホームページからも受け付けています (<http://www.ecochil-fukushima.jp/>)



メールフォームでのお問い合わせ

下記、必要事項にご記入ください。
ご入力いただきました個人情報は、返信やご連絡など、正当な目的以外で使用いたしません。
個人情報の取扱いは「[プライバシーポリシー](#)」をご覧ください。

※は必須項目です。未入力の場合送信されませんご注意ください。

お名前	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>
確認用メールアドレス	<input type="text"/>
エコチル調査参加者ですか?	<input type="radio"/> 参加者 <input type="radio"/> 参加者ではない
お住まいの市町村(参加者のみ)	<input type="text"/>
出産医療機関(参加者のみ)	<input type="text"/>
内容	<input type="text"/>

必要事項をご入力ください
※印は必須項目です

ここにお子さんのお名前、お誕生日、
新住所、電話番号(携帯電話番号)、
転居日をご入力ください

★みなさまの「声」をお聞かせください。

エコチル調査に関する質問・疑問、本誌へのご感想やご要望などなんでもお気軽にお寄せください。
お問い合わせに関する情報は、HPに掲載しているプライバシーポリシーに基づいて取り扱います。



■ 調査の一般的な内容に関するお問い合わせ先

▶ エコチル調査福島専用コールセンター
☎0120-327-735
平日(土・日・祝日を除く) | 9:00~17:00 |

■ エコチル調査福島ユニットセンターへのお問い合わせ先

・福島本部事務所(県北・相双地域) TEL. 024-547-1449 〒960-1295 福島市光が丘(福島県立医科大学内)
・郡山事務所(県中・県南・会津・いわき地域) TEL. 024-983-4780 〒963-8024 郡山市朝日三丁目6-4 レジデンス朝日 第2ビル2階



エコチル☆ふくしま通信

2020年
春号



発行/エコチル調査福島ユニットセンター

皆さまのご協力により 福島から分析結果が 世界に向けて 発表されてきています

エコチル調査福島ユニットセンター 副センター長
福島県立医科大学医学部 産科婦人科学講座 教授
藤森 敬也



東日本大震災の直前の平成23年の1月に開始されたエコチル調査は、今年の1月には満9年となり、現在無事10年目を迎えました。エコチル調査は、全国で目標の10万人の参加を達成し、福島県では13,131人の妊婦さんにご協力をいただきました。現在は、お子さんたちのフォローアップ調査を中心に、さらに、全国で5,000人のお子さんたち、福島では約650人のお子さんたちにご協力をお願いしている詳細調査も順調に実施されています。詳細調査は、自宅訪問での環境調査、医療機関等での医学的検査、精神神経発達検査、その他、全体調査として質問票、学童期検査、乳歯調査ご協力をお願いなどを行っており、ご家族の皆さま、医療機関の皆さまに大変お世話になっています。

こういった中、福島ユニットセンターや産科婦人科学講座

の先生方を中心に、少しずつですが、全国データを使用した分析結果が世界に向けて発表されてきています。「お母さんの年齢と早産、出生体重」、「癒着胎盤のリスク因子の解析」、「子宮腺筋症を持っているお母さんの周産期予後」、「向炎症食と早産、出生児体重」などです。現在は、妊娠中や妊娠前のお母さん方のデータと、分娩の時のデータ解析が中心ですが、将来的には、妊娠中のお食事などを含めた過ごし方やお子さんたちの成長に関する何らかのことが示されるかもしれません。皆さま大変お忙しいとは思いますが、今後は、1人でも多くのお子さんが、13歳になるまで継続してご協力いただくことが、さらなる調査結果やデータ解析のため必要です。継続した皆さまのご協力が、将来の子どもたちへのより良い成長につながるプレゼントになるものと信じております。

エコチル調査福島ユニットセンターは、今後とも参加者の皆さまに寄り添い、皆さまと一緒に子どもたちの成長を見守り続けて参ります。皆さま、お仕事や子育てで大変お忙しいとは思いますが、将来の子どもたちの健やかな成長のため、継続した調査に今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

第9回エコチルシンポジウムに行ってきました!



令和2年2月15日(土)、東京都千代田区にある星陵会館で開催された第9回エコチルシンポジウムに福島ユニットセンター長をはじめスタッフ7名で参加してきました。

エコチル調査の立ち上げ時に中心的役割を果たされた内閣府食品安全委員会委員長佐藤洋先生による特別講演「エコチル調査の夜明け」やエコチル調査コアセンター次長中山祥嗣先生による基調講演「エコチル調査の果実: 調査の結果をどう社会に還元するか」を聴きました。

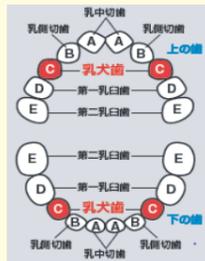
続くパネルディスカッションではエコチル調査メディカルサポートセンター長大矢幸弘先生と食育インストラクター和田明日香さんも登壇されました。前半の講演内容をふまえた和田さんからの質問に対し、先生方から適切なアドバイスがありました。

子どもたちが、より安全に育つ環境のために、エコチル調査の役割を改めて実感したシンポジウムでした。

乳歯調査にご協力いただける方を引き続き募集しています！

乳歯調査とは

お子さんの抜けた乳歯(乳犬歯)を2本提供いただき、**乳歯の中に含まれる化学物質**を調べます。



お子さんが**10歳の時**に提供のお願いをします



乳犬歯は、上下2本ずつある糸切り歯のことです

ご協力いただける方には

1.オリジナル乳歯ケースと乳歯調査ブックをプレゼントしています。



2.10歳の時にお届けする「乳歯調査票」と乳歯(乳犬歯)2本を返送いただけます。



3.謝礼として1,000円分のnanacoポイントを差し上げます。



協力意思を回答していない方へお願い

協力意思を「乳歯調査ハガキ」あるいは「電話」でご回答ください。

- 協力いただけない場合も、**全員にご回答**をお願いします。
- 「乳歯調査ハガキ」がお手元になく場合は、福島ユニットセンターまでご連絡ください。
- 「乳歯調査ハガキ」の有効期限が切れていてもそのまま投函いただけます。

※乳歯調査ブックにはお子さんの抜けた歯の記録をつけることができます！

<乳歯調査について詳しく知りたい方は>

エコチル調査福島ユニットセンターのホームページで、**詳しい資料**をご確認いただけます。

また、乳歯調査に参加しようか悩んでいるなど、ご心配なことやご不明なことがありましたら、お気軽に福島ユニットセンターまでご連絡ください。

乳歯調査資料 QRコード



おしえて先生！あんなこと、こんなこと



アレルギーと腸内細菌

今年度もリレー形式で4人の先生方にアレルギーについてお話をいただきます。

一般財団法人 太田総合病院附属 太田西ノ内病院 小児科部長 生井 良幸 先生



Q アレルギーと腸内細菌叢について教えてください

A 近年、非常に多種・多数存在する腸内細菌が免疫に影響を与えているのではないかと考えられる報告が多くなってきています。また、腸内細菌の割合の違いにより、アレルギー児が少なくなったり多くなったりする報告もあります。

私たちの腸には、さまざまな腸内細菌の集まり、いわゆる「腸内細菌叢」(ちょうないさいきんそう)が存在し、私たちの健康に影響を与えていることが分かってきています。私たちの腸が初めて腸内細菌と出会うのは出産のときです。産道を通して赤ちゃんが産まれてくる際、お母さんの体に付着した菌が赤ちゃんの口や鼻から腸へと入り込みます。その後、一時的に病気の原因ともなる大腸菌などの「悪い細菌」が増えますが、生後4日を過ぎたあたりから

ビフィズス菌が急速に増え、悪い細菌を除去します。さらに、増えたビフィズス菌が「酢酸」という物質を産生し、これが赤ちゃんの腸の細胞を丈夫にする働きをします。このように適度な腸内細菌叢のバランスがさまざまなきっかけで崩れてしまうことが、小児アレルギーの発症と深く関わっていることが多くの研究からわかってきています。

たとえば、帝王切開で生まれた新生児は産道での母親の細菌に触れる機会がなく、経膈分娩児と比べてアレルギー性疾患のリスクが高かったり、乳児期早期の抗生剤投与は腸内細菌叢の乱れやビフィズス菌の減少などをきたしたりして、アレルギー疾患発症のリスクを高めるのではないかと報告されています。

治療面では、アレルギーリスク児に対するアトピー性皮膚炎発症予防における乳酸菌の予防効果が弱いなりに認めるものの、気管支喘息や食物アレルギーなどには効果がないといった報告があります。

現時点でアレルギーを心配したときに大切なことは、適切な生活リズム(良質な睡眠・運動・排便など)を心掛け、バランスのよい食事生活を続けたり、必要のない抗生剤の使用を抑えたりすることだと考えます。

エコチルふれあい会

「参加者同士で気軽にお話できるサロンのようなところがあったらいいな」というご意見から、エコチル調査の参加者向けイベント(エコチルふれあい会)を開催しています。

風船ロケットをつくろう！



2019年12月1日(日) 郡山市(参加21組) 郡山市音楽・文化交流館 (ミュールがくと館)

親子でキッズダンス



2019年12月24日(火) 福島市(参加17組) 福島市体育館・武道場 (NCVふくしまアリーナ)

【参加者の声】

- 風船ロケットを親子で作れて面白かったです。また、スペースパークの講師の実験も面白かったです。
- 今後のためになる内容でした。初めての参加でしたが機会があったらまた参加したいです。

【参加者の声】

- 親子で体を動かす良い機会になりました。ダンスが好きなので楽しんでいました。
- キッズダンスは2回目の参加です。先生の教え方はとても分かりやすく、子どもも楽しくできました。また参加したいです。